

県立高専施設整備費（基本設計段階）について

PFIによる入札中止を受けて、令和6年7月に見直した県立高専の施設整備費のうち、施工費（約128億円）（下表の②の列のうち「施工費」欄）について、令和6年10月以降進めてきた基本設計内容を踏まえ、今般、令和8年4月の建設契約時点での必要額を再積算した結果、約16億円増の約144億円（下表の③の列のうち「施工費」欄）が必要となる見込み。

1 施工費増加の要因

施工費が約144億円に増加する要因としては、主に以下の2点が影響しているところ。

要因1 令和6年7月の見直し時に、「工区を3程度に区分する方向で検討を行う」としていた施工について、令和10年4月開校を実現すること、加えて、県内事業者の入札参加可能性を高めるとともに、入札における競争性を向上させる観点から、9区分（3工区（※）×3工種（建築、電気、機械））に分割発注することを前提とすることによる間接的経費（共通費）の増加（+約5億円）

（※）①校舎棟、②図書交流・食堂売店棟および学生寮、③実習工場・実験室棟および体育館
 ⇒ 地域経済の活性化（滋賀県が締結する契約に関する条例第10条）に資するもの

要因2 令和6年7月時点から令和8年4月までの物価上昇の影響（+約11億円）

- ①令和6年7月から基本設計段階である令和7年3月までの物価上昇の影響（+約5億円）
- ②令和7年3月から建設契約時点である令和8年4月までの物価上昇見込み（約4.6%（（一財）建設物価調査会が公表している建築費指数から試算））の影響（+約6億円）

（単位：億円、およその金額）

経費内訳	時点	①R6.3時点 （構想2.0）	②R6.7見直し時点 （R6.7時点の物価で算出）	③R8.4建設契約時点 （R8.4までの物価上昇を 見込み施工費を算出）	変動額（③－②）
施設整備費		87	138	152	14
設計関係費			8	6	▲2
監理費			2	2	0
施工費			128	144	16
その他		32	32	26	▲6
機械・備品		17	17	17(※1)	0
用地造成		13	13	8	▲5
インフラ整備		2	2	1	▲1
整備費合計		119	170	178(※2)	8

※1 機械・備品については、17億円をベースにおきつつ、現在進めているカリキュラムの検討結果および調達時期の整理を受けて、改めて算出予定

※2 財源については、県債（地域活性化事業債（充当率90%、交付税措置率30%））、基金および一般財源を見込む。

また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構からの助成金（大学・高専機能強化支援事業、最大10億円）を申請中

今後進める実施設計段階での精査、また、入札における競争性の向上などを通じ、整備費全体として、令和6年7月見直し時点の約170億円（上表の②の列のうち「整備費合計」欄）に近づくよう、不断に事業費の見直しを図っていく。

2 今後のスケジュール

時 期	校舎棟	校舎棟以外
令和7年9月	・ 県議会9月定例会議に、債務負担行為として補正予算案を上程	
令和7年11月	・ 実施設計完了	
令和8年1月		・ 実施設計完了
令和8年2月	・ 県議会2月定例会議に、令和8年度当初予算案として所要額を上程	
	・ 入札公告	
令和8年4月 ～5月	・ 開札、契約締結 ・ 工事開始（～令和10年1月）	・ 入札公告
令和8年7月		・ 開札、契約締結
令和8年8月		・ 工事開始（～令和10年1月）

（ 以 上 ）